福島県立医科大学 学術機関リポジトリ

Title	疼痛医学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 29: 368-373
Issue Date	2019-03-19
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/854
Rights	©2019 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-23T20:45:41Z

Fukushima Medical University

疼痛医学講座

論　　文

〔原　著〕

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Surgical Outcomes of Cervical Myelopathy in Patients with Athetoid Cerebral Palsy: A 5-Year Follow-Up. Asian Spine Journal. 201712; 11(6):928-934.

Takahashi N, Omata J, Iwabuchi M, Fukuda H, Shirado O. Therapeutic Efficacy of Nonsteroidal Anti-Inflammatory Drug Therapy Versus Exercise Therapy in Patients with Chronic Nonspecific Low Back Pain: Prospective Study. Fukushima Journal of Medical Science. 201704; 63(1):8-15.

Motoya R, Otani K, Nikaido T, Ono Y, Matsumoto T, Yamagishi R, Yabuki S, Konno S, Niwa S, Yabe H. Short-term effect of back school based on cognitive behavioral therapy involving multidisciplinary collaboration. Fukushima Journal of Medical Science. 201708; 63(2):81-89.

Kobayashi H, Otani K, Watanabe K, Kato K, Nikaido T, Yabuki S, Kikuchi SI, Konno SI. Vertebral fracture at the caudal end of a surgical fusion for thoracic vertebral fracture in a patient with diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH). Fukushima Journal of Medical Science. 201708; 63(2):112-115.

Ouchi K, Hakozaki M, Kikuchi S, Yabuki S, Konno S. Osteochondroma of the Tibial Sesamoid: A Case Report and Review of the Literature. Journal of Foot & Ankle Surgery. 201705; 56(3):628-631.

Watanabe K, Sekiguchi M, Yonemoto K, Nikaido T, Kato K, Otani K, Yabuki S, Kakuma T, Kikuchi SI, Konno SI; DISTO-project working group. Bowel/bladder dysfunction and numbness in the sole of the both feet in lumbar spinal stenosis - A multicenter cross-sectional study. Journal of Orthopaedic Science. 201707; 22(4):647-651.

Nikaido T, Fukuma S, Wakita T, Sekiguchi M, Yabuki S, Onishi Y, Fukuhara S, Konno SI. Development of a profile scoring system for assessing the psychosocial situation of patients with chronic musculoskeletal pain. Journal of Pain Research. 201708; 10:1853-1859.

二階堂琢也，矢吹省司．【運動器リハビリテーションに必須の評価法と活用法】 骨粗鬆症のリハビリテーションに必須の評価法と活用法. The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 201711; 54(11):864-870.

矢吹省司，池本竜則，髙橋直人，鉄永倫子．運動器慢性痛に対するチームアプローチ　立ち上げと実践、その効

果. Locomotive Pain Frontier. 201705; 6(1):5-13.

髙橋直人，矢吹省司. 集学的リハビリテーションの重要性. Locomotive Pain Frontier. 201705; 6(1):14-18.

吉田勝浩，矢吹省司. 外側型変形性膝関節症に対する遠位大腿骨内反骨切り術. Locomotive Pain Frontier. 201705; 6(1):32-37.

亀田拓哉，関口美穂，福井　聖，矢吹省司，紺野愼一. 慢性腰痛患者における脳代謝物質と疼痛刺激による脳賦活部位の変化. Pain Research. 201703; 32(1):25-31.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司. 星総合病院での入院型ペインマネージメントプログラム. Pain Research. 201703; 32(1):41-51.

高橋　勝，新保尚子，鴫原和昭，大井直往，高槻　梢，青田恵郎，大橋寛憲，矢吹省司. 脱臼予防パンフレット導入前後の QOL と不安の変化　人工股関節全置換術後患者での検討. 運動器リハビリテーション. 201705; 28(1):60-67.

渡邉和之，矢吹省司. 【脊椎内視鏡下手術の適応と限界】 頸椎部脊椎内視鏡下手術の適応と限界　内視鏡下椎弓切除術(MEL). 関節外科. 201707; 36(7):711-716.

矢吹省司. 運動器慢性痛にみられる問題点 心理的問題とその対処. クリニシアン. 201712; 64(11-12):1106-1111.

笠原　諭，松平　浩，荒瀬洋子，村上壽子，髙橋直人，矢吹省司. 慢性疼痛の臨床に必要な心理社会的評価尺度 MPI. 最新精神医学. 201703; 22(2):103-108.

関口美穂，矢吹省司. 機能的 MRI(fMRI)の応用. 整形・災害外科. 201704; 60(5):509-513.

矢吹省司. 3.11 東日本大震災後仮設住宅に住む高齢避難者の運動機能. 総合リハビリテーション. 201712; 45(12):1205-1209.

小林一貴，加藤欽志，矢吹省司，大谷晃司，二階堂琢也，渡邉和之，小林　洋，紺野愼一. 幼児に発生した胸随硬膜外血腫の 1 例. 東北整形災害外科学会雑誌. 201706; 60(1):110-114.

小林　洋，関口美穂，米本孝二，角間辰之，加藤欽志，渡邉和之，二階堂琢也，大谷晃司，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 腰部脊柱管狭窄の特異的 QOL 尺度　JOABPEQ の性・年齢階層別基準値の測定　多施設共同横断研究（DISTO プロジェクト）. 臨床整形外科. 201707; 52(7):631-637.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司. 慢性疼痛の治療戦略 新たな薬物療法の確立を目指して⑩ 運動療法・認知行動療法. 臨床整形外科. 201707; 52(7):670-678.

菅野和広，今泉光雅，早川貴司，池田雅一，鈴木俊彦，藤田貴昭，多田靖宏，矢吹省司，大井直往，大森孝一. 高齢者施設入所中の後期高齢者に対する嚥下スクリーニングの妥当性評価　誤嚥検診を通じて. 嚥下医学. 201702; 6(1):100-108.

著　書・訳　書

矢吹省司. 外傷性頸部症候群. In: 猿田享男, 北村惣一郎 監修. 1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版. 東京: 日本医事新報社; 201707. p.1147-1150.

松平　浩, **笠原　諭**, **竹下克志**, **髙橋直人**, **矢吹省司**. 第 3 章 脊椎脊髄病変との鑑別診断 心因性疼痛－新たな視点に立った解釈と層化の実際. In: 福武敏夫, 徳橋泰明, 坂本博昭 編. Dynamic diagnosis に必要な脊椎脊髄の神経症候学. 東京: 三輪書店; 201703. p.108-115.

髙橋直人, **矢吹省司**. 第 4 章 ブプレノルフィン貼付薬使用症例の提示 1. 整形外科領域での使用症例 Case study 1 慢性の運動器痛. In: 山口重樹 編. 痛み診療におけるオピオイド治療：ブプレノルフィン貼付剤の可能性. 東京: 真興交易医書出版部; 201707. p.78-84.

二階堂琢也, **矢吹省司**, **紺野愼一**. 第 4 章 ブプレノルフィン貼付剤使用症例の提示 1. 整形外科領域での使用症例 Case Study 2 破壊性脊椎関節症. In: 山口重樹 編. 痛み診療におけるオピオイド治療：ブプレノルフィン貼付剤の可能性. 東京: 真興交易医書出版部; 201707. p.85-89.

紺野愼一, **矢吹省司 監修**. シニアの脊柱管狭窄症 痛みと不安を解消する！（別冊 NHK きょうの健康）. 東京: NHK 出版; 201706.

渡邉和之, **矢吹省司**. 心因性麻痺. In: 冨士武史, 田辺秀樹, 大川　淳 編. 専門医の整形外科外来診療　最新の診断・治療. 東京: 南江堂; 201704. p.403-405.

矢吹省司. 慢性疼痛の実態と運動療法. In: 一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団 編. 日本は慢性疼痛にどう対処していくのか. 東京: 薬事日報社; 201711. p.45-51.

矢吹省司. 腰痛の運動療法. In: 宮本雅史 編著. 臨床医のための腰痛　診断・治療指針. 東京: 医薬ジャーナル; 201705. p.100-109.

研究発表等

〔研究発表〕

Kobayashi H, Yabuki S, Nikaido T, Watanabe K, Kato K, Sekiguchi M, Otani K, Kikuchi S, Konno S. Liaison Approach for Chronic Low Back Pain. 20th SGNS(Seminar of the Study Group for Nerve and Spine); 20170311; Tokyo.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Development and preliminary results of an inpatient pain management program in Hoshi General Hospital. 3rd North-East Spine Surgeons of Tomorrow; 20170513; Fukushima.

Nikaido T, Sumitani M, Sekiguchi M, Yabuki S, Konno S. Verify the diagnostic capability of screening tool "Spine PainDETECT" for the neuropathic pain due to spinal disorders. 44th The International Society for the

Study of the Lumbar Spine Annual Meeting(ISSLS); 20170529-0602; Athens, Greece.

Watanabe K, Otani K, Nikaido T, Kato K, Kobayashi H, Yabuki S, Kikuchi S, Konno S. Effectiveness of decompression surgery for lumbar spinal stenosis in patients of eighty years of age and older. 44th The International Society for the Study of the Lumbar Spine Annual Meeting(ISSLS); 20170529-0602; Athens, Greece.

Takahashi N, Kasahara S, Yabuki S. Multidisciplinary pain management program in Japan. 28th Annual Meeting of Academy of Integrative Pain Management; 20171020; San Diego, USA.

小林　洋，二階堂琢也，加藤欽志，渡邉和之，大谷晃司，矢吹省司，紺野愼一. 経皮的椎弓根スクリューと胸腔鏡を用いた低侵襲前後方固定によって治療した胸椎化膿性脊椎炎の一例. 東北 MISt 研究会; 20170129; 仙台.

小林　洋，大谷晃司，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，矢吹省司，紺野愼一. 甲状腺癌の術後、胸椎に tumoral calcinosis を生じ脊髄症を呈した一例. 第 38 回東北骨代謝・骨粗鬆症研究会; 20170204; 仙台.

岩﨑　稔，髙橋直人，二瓶健司，大内美穂，鈴木一明，星川美沙，本　幸枝，大須賀ひでみ，矢吹裕太，荒瀬洋子，桐生亜紀，菅野しおり，高槻　梢，笠原　諭，矢吹省司. 座位保持が困難な慢性腰痛に対し入院型ペインマネージメントプログラムにて奏功した 1 例. 第 31 回運動器と痛み研究会; 20170316; 福島.

二階堂琢也，菊地臣一，大谷晃司，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，紺野愼一. 腰部脊柱管狭窄の手術成績評価における JOABPEQ の妥当性と限界　腰痛と機能障害の関係からみた検証. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):191.

小林　洋，大谷晃司，加藤欽志，渡邉和之，二階堂琢也，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 頸髄症の診断における 10 秒テストの診断特性　ROC 曲線を用いた年齢階層別の感度、特異度、カットオフ値の検討. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):221.

小林　洋，大谷晃司，加藤欽志，渡邉和之，二階堂琢也，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 10 秒テストにおける、左右差の臨床的意義の検討. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):221.

二階堂琢也，菊地臣一，大谷晃司，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，紺野愼一. Failed Back Surgery Syndrome(FBSS)に関与する心理社会的因子　客観的評価の重要性. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):233.

大谷晃司，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一. 頸椎部圧迫性脊髄症に対する後方手術の術後満足度に関する因子の検討　経時的変化. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):382.

大谷晃司，菊地臣一，猪狩貴弘，関口美穂，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，紺野愼一. 一般住民検診からみた脊椎脊髄疾患の評価と応用　一般住民における腰部脊柱管狭窄の長期経過　南会津スタディ. 第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):713.

渡邉和之，大谷晃司，二階堂琢也，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一．高齢者腰部脊柱管狭窄に対する除圧術の QOL に対する効果．第 46 回日本脊椎脊髄病学会学術集会; 20170413-15; 札幌. Journal of Spine Research. 8(3):721.

小林　洋，大谷晃司，加藤欽志，渡邉和之，二階堂琢也，矢吹省司，菊地臣一，紺野愼一．腰仙部神経根症における、足 10 秒テストを用いた定量評価の試み．第 90 回日本整形外科学会学術総会; 20170518-21; 仙台．日本整形外科学会雑誌. 91(2):S478.

大谷晃司，菊地臣一，矢吹省司，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，紺野愼一. JOABPEQ からみた看護職員の腰痛の実態．第 90 回日本整形外科学会学術総会; 20170518-21; 仙台．日本整形外科学会雑誌. 91(3):S818.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．慢性運動器痛に対する集学的治療　入院型ペインマネジメントプログラム．第 39 回日本疼痛学会; 20170616-17; 神戸.

渡邉和之，平井　亨，二階堂琢也，加藤欽志，小林　洋，富永亮司，大谷晃司，矢吹省司，紺野愼一．腰部脊柱管狭窄における MRI 所見の診断的意義 腰椎検診参加者を対象とした検討．第 25 回日本腰痛学会; 20171103-04; 東京.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．慢性腰痛に対する集学的治療　入院型ペインマネジメントプログラム．第 25 回日本腰痛学会; 20171104; 東京.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．日本における集学的痛み治療の現況・その課題　福島県立医科大学附属病院と星総合病院における集学的痛み治療の現状とその問題点．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171119; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S28.

二階堂琢也，矢吹省司，関口美穂，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，富永亮司，大谷晃司，紺野愼一．運動器慢性痛患者における痛みの認知と心理的因子の特徴　脊椎疾患と関節疾患の比較．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S54.

髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．星総合病院における慢性運動器痛に対する集学的治療．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171118; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S68.

岩﨑　稔，髙橋直人，鈴木一朗，大内美穂，二瓶健司，大内美穂，二瓶健司，笠原　諭，矢吹省司．慢性腰痛患者に対する入院型ペインマネジメントプログラムでの運動療法における破局的思考の影響．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S75.

大内美穂，髙橋直人，二瓶健司，岩﨑　稔，鈴木一朗，笠原　諭，矢吹省司. MPI における Dysfunctional タイプに対しオペラント行動療法が奏功した 1 例．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S77.

本　幸枝，髙橋直人，遠藤香澄，谷本真美，笠原　諭，矢吹省司．入院型ペインマネジメントプログラムにおける病棟看護師の役割．第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S80.

鈴木一朗，髙橋直人，二瓶健司，岩﨑　稔，大内美穂，矢吹省司．活動量計を用いた自己管理や電話での介入が奏功した慢性腰痛患者の 1 例. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S81.

大須賀ひでみ，渡部さおり，本郷加奈，髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．慢性疼痛センターにおける外来看護師の役割. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S82.

菅野しおり，髙橋直人，矢吹省司．星総合病院入院型ペインマネジメントプログラムにおける管理栄養士の役割. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S82.

荒瀬洋子，桐生亜紀，根本有里佳，長谷川千怜，髙橋直人，笠原　諭，矢吹省司．慢性運動器痛患者に対する家族参加型心理教育プログラムでの患者とその家族との関わり方の性差. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S84.

二瓶健司，髙橋直人，岩﨑　稔，鈴木一朗，大内美穂，矢吹省司．不安やうつが慢性運動器痛に対する集学的治療に及ぼす影響. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117-18; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S87.

過年業績

加藤欽志，大歳憲一，矢吹省司，大谷晃司，二階堂琢也，渡邉和之，小林　洋，菊地臣一，紺野愼一．腰椎終末期分離を抱えるプロ野球選手の特徴 個人的･身体的要因に着目した検討. 第 24 回日本腰痛学会; 20160902-03; 甲府.

〔シンポジウム〕

大谷晃司，菊地臣一，猪狩貴弘，関口美穂，二階堂琢也，渡邉和之，加藤欽志，小林　洋，矢吹省司，紺野愼一．脊椎外科における大規模コホート研究と手術登録 福島医大における腰部脊柱管狭窄に関するコホート研究. 第 90 回日本整形外科学会学術総会; 20170518-21; 仙台. 日本整形外科学会雑誌. 91(2):S350.

〔その他〕

矢吹省司．運動器疼痛研究　次の 10 年に向けて. 第 10 回日本運動器疼痛学会; 20171117; 福島. Journal of Musculoskeletal Pain Research. 9(3):S3.